

平成27年度 須坂市立日野小学校グランドデザイン

＜ 日野小学校教育の根本理念 ＞
 「こんこんと湧き出づる日野の泉」のように、清らかな心と希望を持ち、
 たくましく生きる子どもの育成

【学校教育目標】

「にっこり」「しっかり」

【願う子どもの姿】

1 いつも「にっこり」笑顔の子ども 2 どんな時も「しっかり」考え、行動できる子ども

【本年度の重点目標】

『学ぶ喜びを味わえる授業』

～自分の学び方がわかったり、友だちと学び合ったりしながら、
 開けばいつでもすぐわかる！ノートづくり名人になろう～

『体力の向上』

～いろいろな運動や遊びをして
 体力をアップしよう～

ねらいと具現のための方策

【ねらい】

学ぶ意欲を育み、学び合いを通して学力の定着と向上を図る子ども

【具現のための方策（組織・授業から）】

- ①組織および職員の指導力向上・授業改善
 研究体制を低・中・高学年の連学年体制とし、算数を中心に各学年を通して系統立ったつながりのある教材研究を行い、授業改善を図る
- ②個の違いに応じた授業の工夫
 ノート指導と一体化した板書計画・授業の3観点「ねらい・めりはり・見とどけ」を組織化しながらPDCAサイクルを意識した授業
 「学習課題」・「学習問題」・「まとめ(振り返り)」カードの活用
- ③フィードバックと定着の場：徹底した「ノート指導」・「いずみタイム(ドリルの時間)」→火曜：チャレンジ・クリア問題、金曜：視写の充実・および「家庭学習」の定着
- ④学習環境を整える
 ○温かい言葉を日常的に交わし、認め合い学び合える学級づくり
 ・学習進度や子どもの意識の流れに合わせた掲示物の精選
 ・学習用具の準備、チャイム着席、タイマーの活用挙手・発言・聴き方のルールなど、自ら整えようとする姿勢づくり
- ⑤客観的な評価による成果と課題の検証
 ・単元テストやCRT・NRT等の客観的データによる伸びの確認

ねらい具現のための方策

【ねらい】

たくさんの運動や遊びを進んでおこなう子ども

【具現のための方策】

- ①全校で取り組む教科体育
 ・学年や全校で統一した授業スタイル実施
 ・多様な動きやコーディネーション運動を取り入れる
- ②体育集会の実施
 ・日野っ子サーキットの実施
 ・運動や遊びの紹介
- ③全校で取り組む体力づくり
 ・縄跳びチャレンジカードの活用
- ④体力テストによる振り返り
 ・個別で年間の伸びを確かめる
 ・学級で教科体育を反映させる

授業力向上をめざして
 ・一人一公開の授業の見合い
 ・交換授業

□地域や保護者との連携

- 学校との密接な情報交換による健全育成
 ・学校評議員会 藤見の会 いずみまつり
- 地域でつくる子どもへの安全環境
 ・安全パトロール隊
- 信州型コミュニティスクールの実施に向けて

【学校長の願い（学校経営ビジョン）】

- ◎「不易と流行」「継承と改善」の精神のもと
 ＜心をひとつに 力をひとつに＞
- ・子ども達が『期待しながら登校し・満足して下校する』が繰り返される学校
- ・子どものこと、授業のことを日々語り合う教職員集団

【児童の実態】

- 素直な気持ち
- 遊び、運動、体験的な活動等への興味・関心・適正
- 他との関わりを深める自己表現
- 相手の立場に立った言動

『心のかけあい』

～思いやりの心・強い心を
 のばしていこう～

ねらいと具現のための方策

【ねらい】

自分の心に向き合い、自分も相手も大事にできる子ども

【具現のための方策】

- ①仲間づくり
 あいさつ運動・名札の着用・「さん」で呼び合うことの徹底・姉妹学級での交流活動・仲間づくりを意識した教育活動
- ②Q U検査による予防的教育相談
 ・年2回実施により、実施把握→対応→振り返り
- ③心を育てる場として
 ○床を磨き心を磨く膝つき無言清掃
 ○集会への心整えた参加(無言入退場)
 ○日野小課題図書で心を耕す
- ④家庭や地域社会との共通理解・連携

□本校の伝統 人的・物的教育的環境

～開校106年目～

- 地域の拠点としての特別支援教育
- 教育活動への外部講師・支援者としての参画
 ・読み聞かせ(たんぼぼ)
 ・いずみまつり「名人講座」
- 湧水・藤・学校花壇などの自然豊かな学校環境

＜児童会活動・総合的な学習・生活科の学習を通して＞

- ①潤いのある学校づくり～花いっぱい学校に～
- ②豊かで身近な自然を意識するために
 ～湧水による魚・メダカの飼育・植樹祭への協力～
- ③地域の自然に触れあうために
 ～「いずみの里」の自然体験活動～

アクアワールドの充実